

会議録

令和6年度 滝川市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク代表者会議 会議録

日 時	令和6年2月26日（月曜日）午前14時00分～午前15時00分
開催場所	滝川市役所6階 601・602会議室
出席者	別紙出席者名簿
議 事	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 題 （1） 令和3年度～令和6年度 滝川市高齢者・障がい者虐待現状報告 事務局） 資料に基づき説明を行った。 委 員） 資料1について、1の虐待通報件数のうち、虐待有と判断した件数と、4の被虐待者の性別の人数が違うのはなぜか。また、虐待有と判断した事例の詳細について知りたい。 事務局） 被虐待者の性別については、通報件数による内訳となっている。虐待有としたケースへの対応状況については、資料に詳細が記載されているので参照いただきたい。 委 員） 資料1の4については、「被虐待者」の性別となっているので、通報件数の内訳ではなく、虐待有と判断した件数の内訳とした方がわかりやすいのではないか。 会 長） 件数の報告の記載については、来年に向けて誤解が無いようにし、北海道などの記載内容等も確認し、対応させていただく。 委 員） 函館市において、施設での身体拘束による虐待のニュースがあったが、滝川市ではそれぞれ施設からの通報が高齢者1件、障がい者は3件あるが、どのような内容であったか教えてほしい。 事務局） 高齢者について、施設による虐待通報は、グループホーム入居者のご家族からの通報。介護職員が、入居者に対し食事や水分摂取を強要しているので不安だと、面会時にご家族に対し訴えがあり調べてほしいと通報があった。施設に確認したところ、小食になっている入居者に、少しでも食べていただきたいという気持ちから、このような対応になってしまい、当該職員に対しては、施設からも注意し、研修も実施しており、対応については改善している。また、その都度当該職員と面談を実施するなど、再発防止に努めていると確認している。 事務局） 障がいの報告では、1件はグループホーム入所者の、兄弟から経済的な虐待を受けているもの。2件目は、子供が通っている学校から、親によ

る虐待が疑われるとの通報があり、児童虐待のケースとなることから引き継いでいる。３件目はこの後の、事例報告の中でお話しさせていただく。

（２） 事例報告

事務局） 資料に基づき説明を行った。

委 員） 資料４の障がいの虐待ケースにおいて、聞き取りを実施した結果として部屋から見えないということから、虐待として判断しなかったということなのか。

事務局） 当該施設において、施設職員、障がい者、目撃した職員に確認を実施したところ、結果としては確かに腰に手を回して水道のところへ誘導し、自分でいたずらを直すように指示を行ったとのこと。襟首を持ち引きずるような行為については、その時点では判断できないと確認している。

事務局） 補足として、障がい者の虐待の案件については、有りが無しかははっきりしないことが多い。双方の証言が一致していれば、その結果として認定しやすいが、一致しないことが多く、状況証拠があれば判断することができるが、あくまで疑わしい事例として、報告をあげさせていただいている。施設等所在市町村、振興局から、施設の職員には厳重注意として、再発防止に努めていただいている。

委 員） 資料４の虐待有の判断に至らなかったことはわかったが、結果的にどこで判断しているのか。

事務局） 障がい福祉担当、福祉課長、保健福祉部長等で内容について確認し、判断している。

４ その他

委 員） 障がい者施設での事件の例から、施設での防犯カメラの設置について動きがあるようだが、防犯カメラの設置状況等はどうなっているのか。国の支援などはあるのか。

事務局） 施設にはいろいろな類型があり、「入所施設」においては防犯カメラの設置が優先的に進められているが、滝川市には入所施設はなく、類似の施設としてはグループホームがある。ただ、グループホームも一人部屋で、職員が別の場所で待機しているような、アパートタイプなど種類も様々あり、ご本人の障がいや自立状況に応じて、支援員の関わりも違うため、どのような施設に、どのようなカメラが付いているかは把握できていない状況。施設の指定権者は空知総合振興局であり、滝川市としては、どのくらいカメラが設置されているかは把握できていない状況。カメラの設置補助については、２分の１補助となっているため、設置が進まない様子も見受けられている。

５ 閉 会

会議資料	資料 令和５年度滝川市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク代表者会議次第 令和３年度～５年度滝川市虐待報告（高齢者・障がい者） 事例報告（高齢者・障がい者） 滝川市高齢者・障がい者虐待ネットワーク設置要綱
------	---